

■平林たい子 小説家。戦前にプロレタリア作家として確立，戦時の苦難乗り越え，一貫して反逆的個性を発揮し続けた。

ひらばやしたいこ

日露戦争終 1905＝ 長野県諏訪郡中洲村(諏訪市)で，名主をつとめるも没落した家の三女に生まれ，

幼時より，母の営む雑貨屋を手伝いながら育つ。

明治天皇没 1912＝ 7歳：

第一次大戦始1914＝ 9歳：

本格政党内閣1918＝13歳：長野県立諏訪高等女学校に入学，

在学中，文学に親しむとともに社会主義を知り，堀利彦に傾倒，

原敬首相暗殺1921＝16歳：

水平社結成 1922＝17歳：卒業。上京して電話交換手となるも解雇され，職を転々とするうち，アナキスト山本虎三と同棲，

関東大震災 1923＝18歳：<関東大震災>の際，ともに検挙され，東京退去を条件に釈放されて，ともに大陸にわたり，

護憲三派圧勝1924＝19歳：山本虎三と朝鮮・満州を放浪，施療病院で女兒を出産したが，栄養不良で失う。単身帰国し，

アナキスト芸術家の男性遍歴後，

円本時代始 1926＝21歳：プロレタリア作家への志を固め，{文芸戦線}に小説を発表しはじめ，同人の小堀甚二と同棲し，

金融恐慌 1927＝22歳：結婚。労農芸術家連盟結成に参加。自らの痛烈な生活をリアルに作品化した「嘲る」が「大阪朝日新聞」の懸賞に当選，同年の「施療室にて」とあわせて，プロレタリア文学の新進作家として認められた。

世界恐慌 1929＝24歳：敷設列車，

海軍軍縮条約1930＝25歳：ナップ派と対立して，労農芸術家連盟を脱退，

満州事変 1931＝26歳：

五一五事件 1932＝27歳：

帝人疑獄事件1934＝29歳：第一創作集「施療室にて」を刊行，

日中戦争始 1937＝32歳：「エルドラド明るし」。夫婦ともに検挙され，

健保+総動員 1938＝33歳：留置場で肺結核を得て釈放，

日米開戦 1941＝36歳：この年まで闘病生活を送るなど，苦難つづきであった。

敗戦 1945＝40歳：<敗戦>後，「盲中国兵」を第一作に，旺盛な創作活動を再開。

新憲法公布 1946＝41歳：*日本社会党に入る。「一人行く」「かういふ女」「鬼子母神」など，次々と代表作を発表し，林芙美子・宮本百合子とあわせた3人の女流作家が“文壇の壮観”とまでいわれる。

新憲法施行 1947＝42歳：「かういふ女」で第一回女流文学賞を受賞。

三大事件 1949＝44歳：「地底の歌」，

朝鮮戦争始 1950＝45歳：

独立回復 1951＝46歳：夫らと日本文化自由会議を結成。

メデー事件 1952＝47歳：ニースで開かれた世界ペン大会に出席，以降，ドイツ・韓国・フィリピン・ノルウェーなど歴訪。

55年体制始 1955＝50歳：離婚。

なべ底不況 1957＝52歳：*女流文学者会会長。長編自伝小説「砂漠の花」，

美智子妃 1959＝54歳：

安保闘争 1960＝55歳：

反共的になって，文化フォーラム日本委員・民主婦人連盟代表などをつとめる。

美濃部都知事1967＝62歳：「秘密」によって，女流文学賞。

霞ヶ関ビル 1968＝63歳：

文学的にも政治的にも独自の道を歩んで，

日中国交回復1972＝67歳：*市川房枝らにみとられて，没した。芸術院恩賜賞追贈。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「日本の女性」，